学校番号	３０５

令和３年度　音楽

教科	音楽	科目	演奏研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	自主作成プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯にわたっての楽しみになるよう、音楽へ積極的にアプローチしていける力をつけていきます。

2　学習の到達目標

１年生または２年生で学んだ基礎を踏まえて、作品に対する演奏技能を深め、音楽の様式や多様性に対応した演奏の表現方法を研究し発表できる力を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	古典派からロマン派にかけての歌曲	【歌唱】 モーツァルト「すみれ」 (斉唱・原語) シューベルト「アヴェ・マリア」 (斉唱・原語) 等	○	○	○		a:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽の要素を知覚し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	リズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】 クラッピングカルテット第１番	○		○		a:アンサンブルに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 c:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【創作】 クラッピングアンサンブルをつくろう		○			b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、どのように音楽をつくるかについて意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	古典派の音楽	【鑑賞】 ベートーヴェン 交響曲第5番	○			○	a:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴などに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート
	文化祭で発表しよう	【合唱】 バッハ　カンタータ　147番 より	○	○	○		a:曲想と文化的背景に関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、歌い方に意図をもっている。 c:曲想を歌詞の内容に関わらせ合唱する技能（発声、言葉の発音、呼吸法）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	観察 演奏の聴取

後期	ロマン派から近・現代の歌曲	【歌唱】 最後の歌 （斉唱・日本語・原語） 君を愛す（グリーグ） （斉唱・日本語・原語） 初恋 （斉唱・日本語） 等	○	○	○		a：曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもって、学習に主体的に取り組もうとしている。 b：リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語や原語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 演奏の聴取
	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 リコーダー、ギター、ピアノ等のいろいろな楽器を組み合わせたアンサンブル曲を演奏する	○	○	○		a：楽器の特徴に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 b：旋律と和音の特徴を知覚し、その特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。 c：アンサンブルを行う演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 演奏の聴取
	合唱を楽しもう	【合唱】 クラスで選んだ合唱曲をまとめる （混声3または4）	○	○	○		a：曲想と文化的背景に関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。 b：旋律、ハーモニーを知覚し、それらの特質や雰囲気を感受し、歌い方に表現する意図をもっている。 c：曲想を歌詞の内容に関わらせ合唱する技能（発声、言葉の発音、呼吸法）を身に付け、協力し合い創造的に表している	観察 演奏の聴取

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はa, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野はa, d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。